# 令和７年度自己評価結果公表シート

学校法人清泉学園　ひばり幼稚園

１．本園の教育目標

知育・体育・徳育の調和の中で、総合的な活動を通し、心身の成長を育む。
・プール、体育で健康な心身を育てる
・音楽リズム、絵画制作等を通して優雅な情操を養う。
・自然観察をする機会を多くする。
・昔からの行事を生かして、郷土に密着した教育につとめる。

２．本年度重点的に取り組む目標・計画

・本園の教育課程、指導計画の再確認を行い、内容を検討し、自己評価・自己点検を実施することにより、教員自ら客観的に自園を見る目を養い、保育内容の改善、施設の改善に取り組む。
・研修等を通じ、教員の専門性・資質を向上し、保育に反映する。

３．評価項目及び取り組み状況

| 評価項目 | 取組状況 |
|---|---|
| 教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通の理解をはかる。 | 新しく教育要領が改訂され「小学校に就学するまでに身につけたい10の姿」が示されました。そこで、本園の教育課程の再確認・見直しをし理解を深め、園長・学年主任でねらいをたて、保育に反映させている。 |
| 教育課程・子供も実態等に基に、指導計画を作成する。 | 教育課程に基に、学年毎に指導計画を作成し、保育に反映させる。<br>課題を学年毎に園長と話し合い、子供の実態即した内容に加筆・訂正を行う。 |
| 子供の実態を的確につかみ、具体的に手立てを講じ保育を進める。 | 教員は日々保育記録を参考にし、子供の実態を把握し、日案の作成に反映させる。 |
| 教員の資質、教育の向上のために、研修等に積極的に参加する。 | 主に､オンライン研修を中心に研修に参加した。 |
| 保育・行事を通して、工夫したり、友だと協力することの喜び、大切さを感じ、達成感を味わう。 | 自ら工夫したり、友達との協力する喜び・大切さを感じられる保育環境・保育を準備・提供する。 |
| 学期毎に各クラスの運営成果と課題を報告す、全職員が把握する。 | 各クラスでの月や週の目標を定め、毎学期毎に達成状況を報告し合う。 |
| 子育て支援の充実 | 日々の預かり保育を実施し、保護者の急な用事（兄姉の学校行事等）に対応する。また、仕事をお持ちの方、お持ちでない方も、余裕をもった子育てができるように預かり保育を活用して頂く。<br>長期休暇中の預かり教室実施のニーズは年々多くなっている。できるだけ、多くの日数を実２歳児未就園児教室を実施し、満３歳児入園への繋がりを充実させた。 |
| 防災・安全対策の充実 | 全園児（１～５歳児）が避難訓練に参加した。教職員が乳児・幼児ともに速やかに避難できるように態勢を整えた。 |
| 園だよりやおたよりをとおして、幼稚園の情報を発信する。 | 園の教育方針や取り組み内容を情報発信するように、園だよりやおたよりに記載し、より一層積極的に取り組んでいく。 |
| 小学校との連携について | 進学に向けて、年長組は和気小学校と連携し、教員が教材を使用したりし、園児に進学への期待を膨らますことができた。 |

4．学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教育課程の再確認・見直し、行事毎の反省会、日々の職員会議を通し、保育の取り組むべき課題と園の方針を、全職員が理解を深め、共有化することができた。
また、それぞれ教員が自己評価し、取組状況を報告し合う事を通じ、各々の課題を具体的に確認することができた。また、全職員が、園児一人ひとりの情報を共有し、園児に対してのかかわり方、保育活動の進め方の理解を深めることができた。引き続き、実践していきたい。

5．今後の取り組むべき課題

| 課　　題 | 具体的な取組方法 |
|---|---|
| 教職員のより一層の資質・専門性の向上 | 教職員の資質・専門性の維持をはかると共に研修等へ積極的に参加し、より一層の資質・専門性の向上につなげ、保育に反映させる。 |
| 教員としての基本姿勢を周知徹底 | 全教職員がよく理解できていることではあるが、今一度各々が再確認に、保育に努める。 |
| 乳児の保育向上 | １・２歳の保育の専門性を向上させる。<br>また、３歳以上との保育の連携を研修研究を進める。 |

6．学校関係者評価委員会の意見

特に指摘する事項もなく、適切に運営されていると認められる。

7．財務状況

公認会計士監査により、適正に園運営されていると認められた。